

町長あいさつ

令和元年の台風第19号では、結果的には幸運にもほとんど被害のなかった当町でしたが、70年に一度の規模といえるカスリーン台風以後、初めての避難を指示し、4,000人を超す多くのかたに避難いただいたことから、当然ではありますが課題としていろいろな角度からのご指摘がございました。

町におきましては、町民皆様の第1の願望である安全安心に対し、頂いたご指摘一つ一つを慎重に検証して、新たな「板倉町防災マップ」をここに策定いたしました。

「犠牲者ゼロ」の推進にあたり、特に自助(自らの命は自ら守る)、共助(自分たちの地域は自分たちで守る)につままして、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



板倉町長 栗原 実

令和元年台風第19号 雨量と河川水位

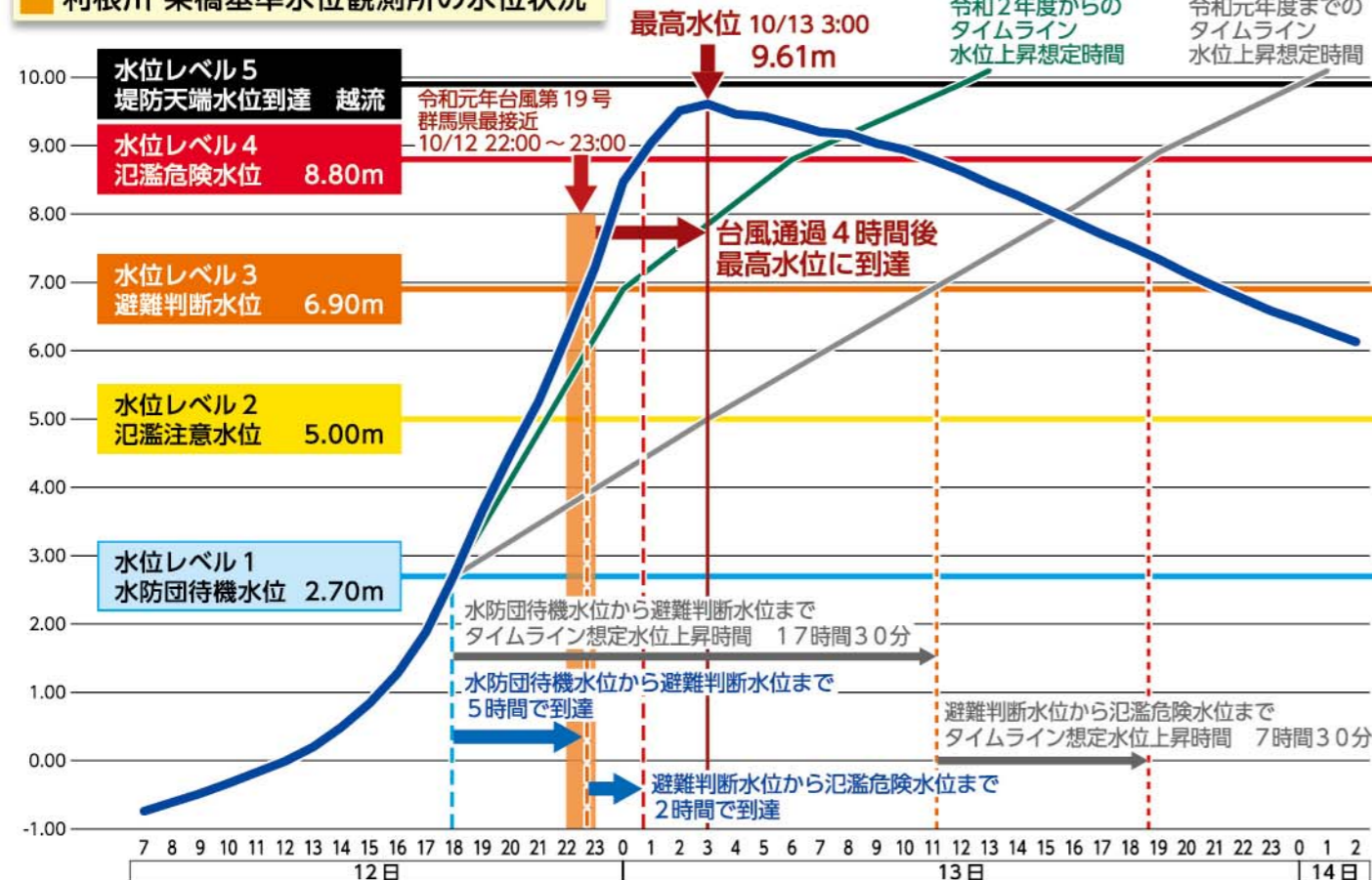
■ 基準水位観測所と流域雨量

利根川・渡良瀬川の流域では、計画規模(100年~200年に1度レベル)で想定している3日間雨量の9割に相当する大雨が、10月12日~13日の2日間で降りました。

河川名	基準水位観測所	想定確率年	計画規模雨量	令和元年台風第19号 10月12日~13日(2日間)	最大24時間雨量
利根川	八斗島	1/200 (200年に1回)	72時間(3日間)336mm	298.7mm	282.4mm
渡良瀬川	高津戸	1/100 (100年に1回)	72時間(3日間)434mm	370.2mm	354.1mm

計画規模雨量:河川整備の目標とする降雨のこと。河川の流域の大きさや災害の発生状況などを考慮して定められています。

■ 利根川 栗橋基準水位観測所の水位状況



大雨の大部分が24時間に集中したため、河川はタイムライン(防災行動計画)で想定していた時間よりも、短時間で急激に水位が上昇しました。利根川の栗橋基準水位観測所では、カスリーン台風災害(1947年)における最高水位9.17m^{※1}を超え、9.61m(標高19.81m)を観測しました。

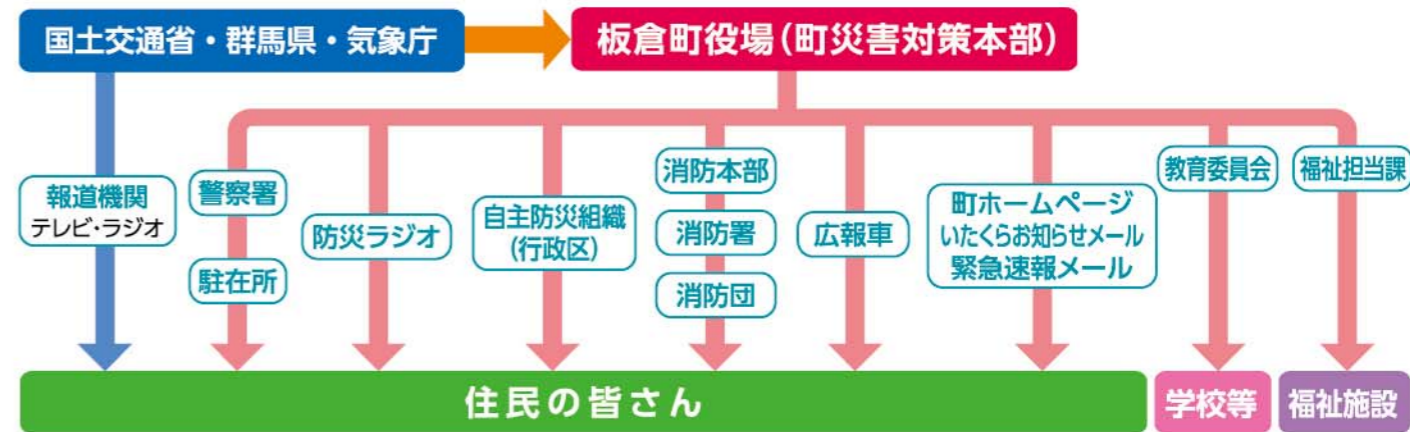
※1 カスリーン台風災害当時、栗橋観測所の計画高は7.55mであり、最高水位を記録した直後に上流地点で堤防が決壊しました。現在の堤防はより高く、より強化されています。

※ 令和元年台風第19号の出水を踏まえ、令和2年から基準水位が見直されました。タイムラインの想定時間も見直しとなっています。

避難情報

避難情報の伝達経路

災害の情報は次の伝達経路で皆さんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネットの情報なども積極的に活用し、情報収集・避難活動に役立てましょう。



避難情報等

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 〈町が発令〉 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 〈町が発令〉 地域の状況に応じて、緊急または重ねて避難を促す場合等に発令
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢のかた、障がいのあるかた、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。広域避難できる人は、町外の避難先等に 広域避難 を開始しましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〈町が発令〉

災害対策本部体制

災害警戒本部体制

警戒レベル2	避難に備え、防災マップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。広域避難を検討し、避難先の親戚や知人へ連絡しましょう。	大雨注意報 洪水注意報等 〈気象庁が発表〉
警戒レベル1	災害への心構え を高めましょう。	早期注意情報(警報級の可能性) 〈気象庁が発表〉